

【 議会広聴会レポ 】

特集

とべと〜く（仮）ってどんなもの？

当議会では議会活動の報告と懇談を通じ、当議会に対する町民皆様のお考えをお聞きするため、これまで議会報告会や議会懇談会を開催してきました。

コロナ禍等で開催方法などを模索していく中で、従来よりも町民との「対話」を重視したいと考え、広聴会を試行的に開催することとなりました。

広聴会を「とべと〜く（仮）」と銘打ち、令和6年11月19日、20日の2日間、2会場で開催しましたので、その様子についてお伝えしていきます。



とべと〜く（仮）の様子

「対話」を重視した

新しい広聴スタイル

これまで当議会では、議会報告会等の広聴機能により、地域が抱える課題や町民の声を聞いて議会活動を行い、議会だより等の広報機能により、その活動報告を行ってきました。

このような点から、広聴と広報の取り組みは一体的に進めることが重要であると判断し、広聴機能の拡充や新たな手法について、議会広報特別委員会を中心に検討を進めてきました。

そして今回、新たな手法を検討するため、町民との「対話」を重視した広聴会「とべと〜く（仮）」を開催しました。「とべと〜く（仮）」では、参加者全員が話せるように、町民と議員を少人数のグループに分けたり、話す時間に制限を設けたり、さまざまな質問が書かれた「SOUNDカードTM」というツールを活用する等、多くの工夫を取り入れ行いました。

参加者が話しやすくなるように、「SOUNDカードTM」のほか、「当別のいま〜いいこと、こまごまい〜」「当別のこれから〜こんなまちにしたい〜」という2つのトークテーマをあらかじめ設定しました。

結果として、各グループでは活発な議論や意見交換が行われ、事後アンケートでも概ね8割の方から、手法について「良かった」との回答をいただきました。しかし、少人数で話しやすいの声があった一方で、話を十分に聞けなかった、カードの活用が難しかった等の声もいただきました。

町民の皆様からいただいた町政に関わる意見等は、内容を各常任委員会の所管ごとに整理して参考とするほか、予算・決算審査、一般質問等の議会活動にも広く活用していく予定です。

今回の「とべと〜く（仮）」で出た意見や判明した課題などを踏まえ、引き続き、住民福祉の向上に資する議会となるよう努めてまいります。

「ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。」

詳細は次ページ

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

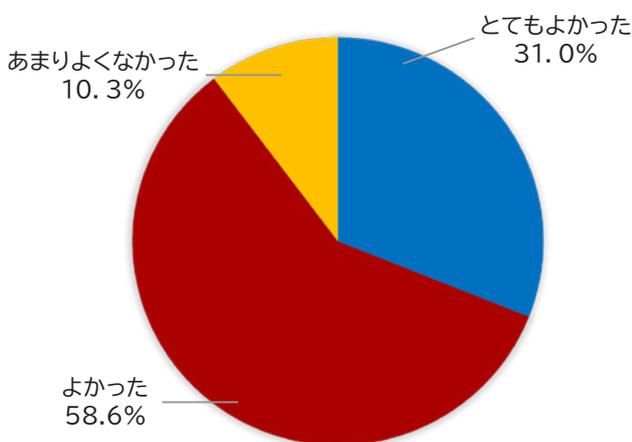


今回いただいたご意見の一部をご紹介します。



参加者アンケートでは・・・

サウンドカード™を用いた広聴会の感想は？



アンケート一部抜粋

- ▼ 町民の思っていることを聞けるたいへん重要なセッションだと思います。
- ▼ また開催してほしい。
- ▼ 少人数で話しやすいグループにしたのに、参加者それぞれの話が十分に聞けなかったのは残念です。
- ▼ カードの活用が難しかった。カードの指示がテーマの内容に上手くマッチしなく、応えづらい部分があった。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。



ご参加いただいた皆様ありがとうございました。議会報告会等の在り方について今後も検討してまいります。

